

城東小学校で河川環境学習を開催しました。

城東小学校 4 年生の児童を対象に、「川の水をきれいにするための取り組み」について学習した後、身近な川の水や生活排水の水質検査を体験し、水をきれいにする事の大切さを学びました。

【実施概要】

日 時：平成 25 年 7 月 1 日（月） 11：30 ～ 12：15

場 所：城東小学校

参加者：城東小学校 4 年生 57 名

徳島県 河川振興課 2 名

- 内 容：1 川の水をきれいにするための取り組み
2 水の汚れの原因（水質実験：COD パックテスト）

【活動状況】

○「川の水をきれいにするための取り組み」

川の役割や川と人の関わりなど、川に関する基本的なこと、川をきれいにするための取り組みやその大切さを学びました。また、事前に河川に関する質問をもらっており、40 年間の水質の変化や川の様子の変り変わり、川を汚さないために今日からできることなどを学びました。

○「水の汚れの原因」水質実験（COD パックテスト）

徳島市の中心部を流れる吉野川、住吉川、沖洲川、大岡川、住吉入江川と水道水の COD（化学的酸素要求量）をパックテストにより測定しました。測定した結果、水道水の COD が一番低く、次いで吉野川、大岡川、住吉川、沖洲川、住吉入江川の順で COD が高くなることが分かりました。また、川の汚れの原因となる生活排水として、身近にある食品（牛乳、ジュース、しょうゆ、スープ、米のとぎ汁、日本酒、焼き肉のたれの全 7 種類）の COD を測定しました。測定した結果、500ml の水に 2～3 滴程度混ぜたものでも 5～30mg/l と高い値を示す結果になりました。このことから、残した食べ物を安易に流しや川に捨てることによって川がどれほど汚れてしまうかを知り、水質浄化のために自分達ができることを学びました。

